

平成28年度 外国人招へい研究者(短期・第2回) 採用者一覧

※通知文書は順次発送いたします。8月中旬までに届かない場合は、日本学術振興会人物交流課までご連絡ください。

氏名・国籍	受入研究者	専攻分野	研究課題	採用期間
ROZENBERG Marcelo Javier アルゼンチン	井上 公 産総研・主任研究員	薄膜・表面界面物性	強相関FETチャネルの電荷不均質の物理とその機能	2016/10/01～2016/11/15 (46日間)
ADAMOVIĆ Drazen クロアチア	永友 清和 阪大・准教授	代数学	頂点作用素代数の指標の確定特異点型微分方程式を用いた研究	2017/03/06～2017/03/30 (25日間)
PICCIONE Paolo イタリア	小磯 深幸 九大・教授	幾何学	リーマン多様体及び擬リーマン多様体における幾何学的変分問題の解の幾何解析	2016/11/01～2016/12/30 (60日間)
GEDEON Tomas 米国	國府 寛司 京大・教授	数学基礎・応用数学	多重パラメータ遺伝子ネットワークのモデリングへの力学系的方法の数理的研究	2017/03/05～2017/04/08 (35日間)
BAMBI Cosimo イタリア	嶺重 慎 京大・教授	天文学	X線データ解析によるブラックホール時空の探究	2017/01/15～2017/02/11 (28日間)
ELIZALDE Emilio Ruis スペイン	野尻 伸一 名大・教授	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理(理論)	暗黒エネルギーの多様なモデルの性質の探求	2017/01/30～2017/02/28 (30日間)
MOROZOV Alexey Yurievich ロシア連邦	糸山 浩 大阪市大・教授	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理(理論)	行列模型と可積分系による超対称ゲージ理論の更なる進展	2017/03/21～2017/05/19 (60日間)
TERYAEV Oleg Valerianovich ロシア連邦	熊野 俊三 高エネ加速器機構・教授	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理(理論)	ハドロン3次元構造関数の研究	2017/01/08～2017/02/04 (28日間)
GOVONI Marco イタリア	濱田 幾太郎 物質・材料研・主任研究員	数理物理・物性基礎(理論)	多体摂動論に基づく大規模電子状態計算手法の開発	2016/10/14～2016/11/18 (36日間)
BENSON Oliver Johannes ドイツ	竹内 繁樹 京大・教授	原子・分子・量子エレクトロニクス	光量子情報のための超高効率単一光子源の実現に向けて	2017/01/05～2017/03/01 (56日間)
MCENROE Suzanne A. 米国	小田 啓邦 産総研・主任研究員	固体地球惑星物理学	磁気異常の成因となる岩石の走査型磁気顕微鏡を用いた岩石磁気学的研究	2017/02/15～2017/03/31 (45日間)
AYOTTE Patrick カナダ	佐崎 元 北大・教授	地球宇宙化学	氷上での大気物質・星間物質の不均一化学反応に関する研究	2016/10/01～2016/10/31 (31日間)